令和７年度環境保全報告書

ナブテスコ株式会社
鉄道カンパニー神戸工場

１．２０２５年度の重点取組目標・計画の実施状況

ナブテスコ株式会社神戸工場では、ナブテスコグループの環境理念・環境方針に基づき、神戸工場における製造、サービス、並びに全ての活動で、環境負荷(CO2排出量)を低減するために、既存設備の省エネ化更新や新規設備導入時の省エネ性比較促進、並びに生産性向上と業務効率改善に取り組んだ結果、CO2排出量が1,476ton-CO2となり、基準年度比▲39%を達成した。

ア．地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

エネルギー消費量

項目		2015年(基準年)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
生産量	売上（百万円）	28,357	22,511	21,922	19,804	19,577	23,012	25,252
生産指数		1.00	0.79	0.77	0.70	0.69	0.81	0.89
工場消費エネルギー	受電電力量(kWh)	5,652,739	4,517,376	4,117,172	2,753,311	2,798,977	3,613,601	3,505,321
	都市ガス(千m3)	169.5	11.0	11.3	10.9	9.8	10.3	10.0
	軽油　(kL)	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
	灯油　(kL)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	ガソリン(kL)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO2排出量(ton-CO2)		2,406	1,643	1,471	881	1,236	1,536	1,476
CO2排出量原単位	燃料	0.0134	0.0012	0.0012	0.0013	0.0010	0.0009	0.0009
	電力	0.0714	0.0718	0.0659	0.0432	0.0621	0.0658	0.0576
	合計	0.0848	0.0730	0.0671	0.0445	0.0631	0.0667	0.0585
原油換算消費量(KL/原油)		1,652	1,175	1,072	721	634	816	792

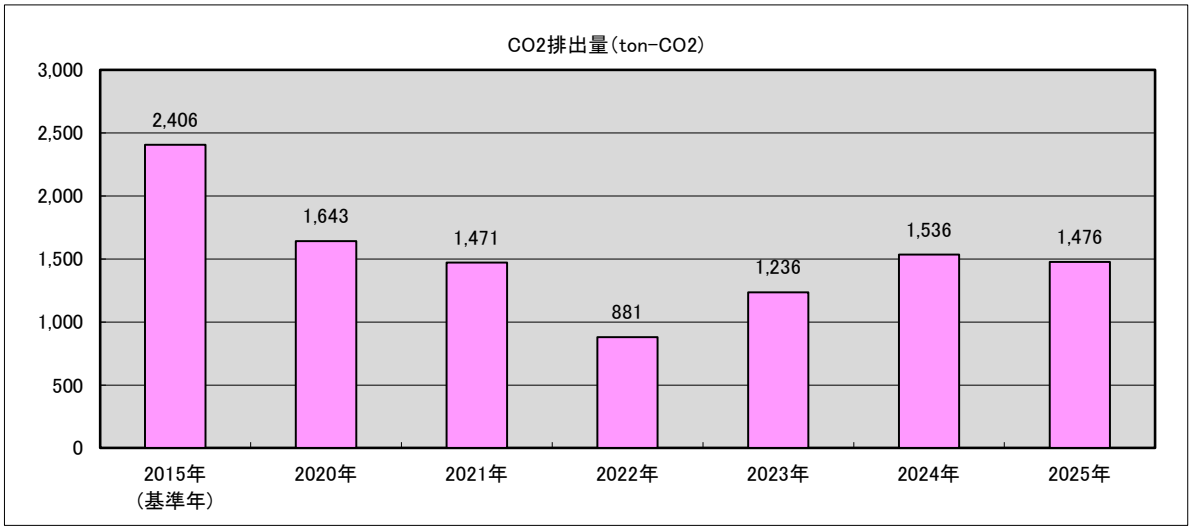
注）受電電力量は、兵庫県の特定物質排出抑制計画のエネルギー使用量の算出値に合わせ、電力供給会社のゼロカーボンメニュー（再生可能エネルギーからの供給）分を除いています。

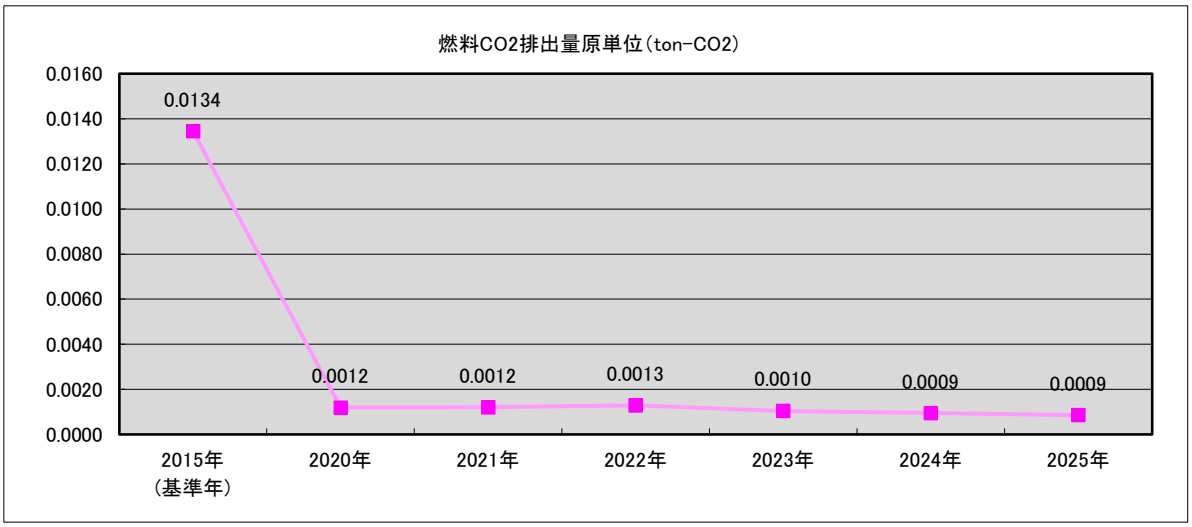
注）ＣＯ２排出量及び原油換算値は、兵庫県の特定物質排出抑制措置計画書の換算係数を使用しています。

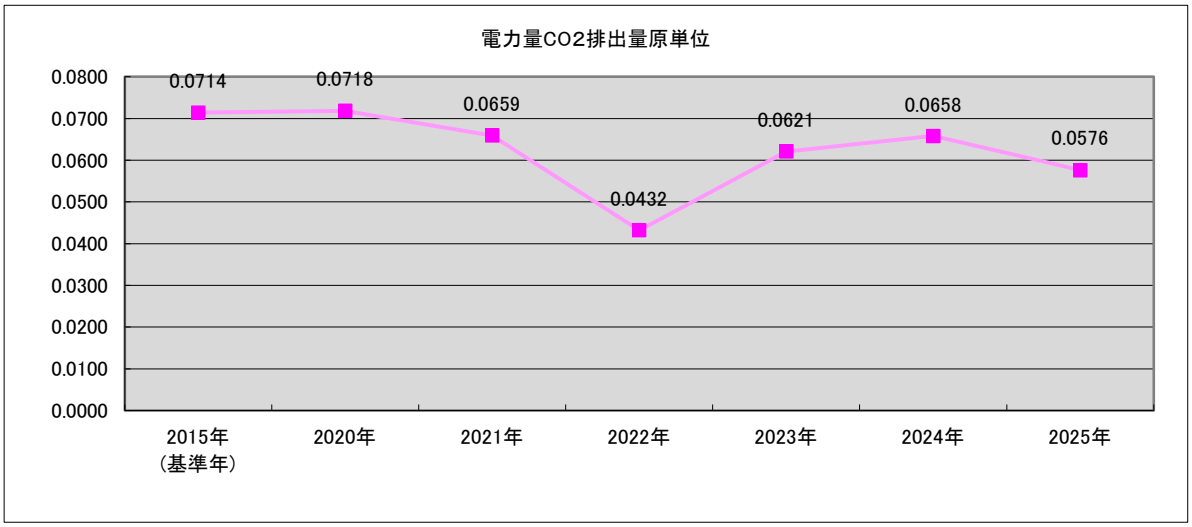
イ．省エネルギーの推進

2025年度は、老朽化した加工設備や変電設備の省エネ化更新など、省エネ設備の導入を実施した。

また、生産設備の効率向上改善やムダ電力の削減改善などの既存設備の省エネ化改善、更には照明や空調の適正使用などの運用改善にも継続的に取り組んだ結果、74，727kWh/年の削減を実現し、約31ton-CO2/年の削減を行った。


CO2排出量(ton-CO2)
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
2,406
1,643
1,471
881
1,236
1,536
1,476
2015年
(基準年)
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
2025年


燃料CO2排出量原単位(ton-CO2)
0.0160
0.0140
0.0120
0.0100
0.0080
0.0060
0.0040
0.0020
0.0000
0.0134
0.0012
0.0012
0.0013
0.0010
0.0009
0.0009
2015年
(基準年)
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
2025年


電力量CO2排出量原単位
0.0800
0.0700
0.0600
0.0500
0.0400
0.0300
0.0200
0.0100
0.0000
0.0714
0.0718
0.0659
0.0432
0.0621
0.0658
0.0576
2015年
(基準年)
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
2025年

２．公害防止対策に係る報告

ア．目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙(ばい塵、窒素酸化物)等、大気汚染物質の年間総排出量の把握と排出量削減	新規導入した大気汚染物質の対象設備はなかった。	新規導入設備の把握。
	ばい煙(窒素酸化物、ばい塵)濃度の排出規制の遵守	新規導入した大気汚染物質の対象設備はなかった。	新規導入設備の把握。
水質汚濁防止対策	公共用水域の環境保全のための排出水の排出規制の遵守	排出基準値を全ての測定において満たしていた。	排出水の水素イオン濃度及びノルマルヘキサンの抽出の定期測定を毎月実施し規制値遵守状況を確認。
	公共用水域汚染の未然防止	公共用水域への汚染防止が図れた。	ドレン水処理設備の日常点検による監視を行うと共に排水ドレントラップの定期清掃を3月に実施。 また、切粉処理棟からの切削液の漏洩の有無を毎日確認。
騒音防止対策	騒音規制基準の遵守	敷地境界線における規制基準値を全ての測定点において満たしていた。	敷地境界線の騒音測定を5月と11月に実施し規制値遵守状況を確認。
振動防止対策	振動規制基準の遵守	神戸工場は工業専用地域に立地しており規制の対象外ではあるものの、新規導入設備において振動抑制に問題ないことを確認した。	新規導入する設備に対して、導入時の設備審査において振動抑制措置の必要性を確認。
土壌汚染対策	土壌汚染防止法の法令遵守	土壌調査を必要とする機会はなかった。 また、特定有害物質による土壌汚染に至る使用状態もなかった。	特定有害物質含有化学物質の使用状況の把握。
産業廃棄物対策	廃棄物の適正廃棄と法令遵守	マニフェストの発行と回収を適切に行い法令違反状態はなかった。	マニフェスト272枚を発行し、独自管理システムによる回収遅れ防止と処分状況を毎日確認。 また、管理票交付状況報告書を6月に提出。
	廃棄物の発生抑制・再利用	廃棄物の適正分別によりゼロエミッションを継続。	毎日廃棄物置場を巡回し適正分別の状況の確認と誤廃棄防止の注意啓蒙を実施。 また、書類の電子化促進など事業系一般廃棄物に係る減量等計画を策定し計画書を5月に提出。
	塗装ブース廃液の適正産廃処理	塗装ブース廃液処理において不適正な処理はなかった。	7月と12月に塗装ブースの清掃時に、廃棄物処理契約先への委託による廃液の適正処理。
	加工品洗浄機の廃液の適正産廃処理	洗浄機廃液処理において不適正な処理はなかった。	9月と2月に洗浄機の清掃時に、廃棄物処理契約先への委託による廃液の適正処理。

２．公害防止対策に係る報告

イ．2025年度排出水の汚濁状態測定結果

排水口名　：　排水口１

		項　　目	下水排水基準	測　定　値		全測定回数	目標値超過回数	目標値達成判定	法令基準達成判定
				最大（pHのみ最小～最大）	平均				
法令排水基準設定項目（生活環境項目）	1	水素イオン濃度	5.0～9.0	6.4～8.7	7.5	12	0	○	○
		（pH）							
法令排水基準設定項目（有害物質項目）	2	ノルマルヘキサン抽出物質	5	＜1	<1	12	0	○	○
		（鉱油類含有量：mg/ℓ）							

○　達成　　×　未達成

３．地球温暖化対策に係る報告

ア．2025年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO2換算)
					kg-CO2/MJ	kg－CO2	CO2	kg－CO2
燃料の使用	灯油	0	ℓ	36.5	0.0686	0	1	0
	軽油	255	ℓ	38.0	0.0689	668	1	668
	都市ｶﾞｽ	10,011	Nm3	40.0	0.0513	20,556	1	20,556
電気事業者から供給された電気の使用（ゼロカーボンメニュー除く）	一般電気事業者	3,505,321	kWh	8.64	0.415	1,454,708	1	1,454,708
合計						1,475,932		1,475,932

イ．当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	排出目標		排出実績		基準年度比削減率	
(ton-CO2)	今年度(2025年度)	2030年度	基準年度(2015年度)	今年度(2025年度)	今年度(2025年度)	2030年度
二酸化炭素排出量	1,765	890	2,406	1,476	39%	63%
非化石証書の購入による削減	-587	－	0	-1,089	45%	－
合計	1,178	890	2,406	387	84%	63%

ウ．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節電・燃料使用量の削減	節電	昼休み時の消灯	100%	実施
		節電	PCの省エネ設定	100%	実施
		節電	空調冷暖房運転の適正化（但し熱中症配慮優先）	夏季:28℃ 冬季:20℃	実施
		節電	生産性向上によるムダ電力削減	継続実施	実施
		節電	業務改革による電力削減	継続実施	実施
		節電	エア漏れ改善による電力削減	継続実施	実施
2	環境負荷の少ない設備への転換	エネルギー使用の高効率化	老朽M/C加工機の高効率型への更新	1台更新	1台更新実施
3	太陽光発電への転換	太陽光発電システムの運用	ー	継続運用	実施
4	グリーン電力の導入（太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱など、自然を利用した「再生可能エネルギー」で作った電気の導入）	「グリーン電力証書」を購入して使用エネルギーを再生可能エネルギーに変更	再生可能エネルギー由来の非化石証書1,400,000kWh分を購入する	1,400,000kWh購入	2,600,000kWh購入
		100%再生可能エネルギーの電力プランへの切替	ー	切替継続検討	検討継続

４．公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2025年度の環境保全活動に係る具体的実施内容（その１）

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所での節水	節水	掲示物による啓蒙促進	啓蒙促進	継続実施
2	廃棄物の適正処理、減量	適正分別廃棄による適正排出	日々巡回点検による分別排出の徹底	ゼロエミッション継続維持	継続維持
		産業廃棄物の減量	再資源化への切替え	切替検討	検討継続
3	廃棄物再生製品等の使用	事務用品のグリーン購入の促進	―	100%	概ね実施
		コピー用紙の再生紙利用の促進	―	100%	概ね実施
		トイレットペーパーの再生品利用	―	100%	実施
4	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	廃棄時の環境影響を配慮した材料の選定	梱包材の廃棄削減	改善促進	継続実施
			環境配慮型製品の開発	開発計画時の検討実施	継続実施
5	自動車対策	製品、購入品の輸送ルート効率化	―	継続改善促進	継続実施
		エコドライブ、アイドリングストップの推進	掲示物による啓蒙促進	継続啓蒙促進	継続実施
		低公害車への更新推進	社有車の低公害車への更新	次回更新時に検討	今年度更新なし
6	特定フロン等使用量の削減	設備導入時に特定フロン非使用設備を導入	―	設備導入時の検討実施	フロン非使用設備の検討を継続実施
		特定フロン使用機器廃棄時の適正処理	―	設備廃棄時の実施	2台廃棄時に適正処理実施
7	環境に配慮した施設整備	緑地の整備	植え込み、芝生等への施肥、灌水、除草の実施	継続実施	6回/年実施
8	従業員教育	研修、講演会へ参加	環境保全に関わるセミナーなどに参加	適宜参加	有効なセミナーなく参加なし
		ISO14001/2015教育	外部機関によるマネジメントシステム講習	適宜実施	内部監査実施時に教育も兼ねて実施
		環境情報展開	神戸ESH委員会及びメールや掲示板での展開	1回/月以上	毎月KESH委員会にて実施

４．公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2025年度の環境保全活動に係る具体的実施内容（その２）

	分野	項目	細目	目標	実施状況
9	地域社会への参画	事業所前道路の清掃	西神工業会行事	1回/年	10月実施
		西神中央公園の 桜の木の育成支援	コカコーラ自販機の 使用による西神自治 連合会へ寄付	支援の継続	継続実施
10	関連協議会への参画	西神工業会の環境部 会への参加	―	招集都度参加	3回参加
		鉄道車両工業会の 環境部会への参加	―	招集都度参加	3回参加
11	環境管理システムの 充実	ISO14001/2015の認証 継続	―	継続認証取得	2月に継続取得
		ISO14001/2015関連 規定の整備	環境マニュアル他、 関連規定類の見直し	適宜見直しの 継続	見直し 継続実施
12	プラスチックに係る 資源循環の促進	プラ製品の設計を 環境配慮型素材に 転換	生分解性、バイオマ ス、リサイクル等の 素材へ転換	開発計画時の 検討実施	開発検討時 継続実施
		使い捨てプラを リデュース	サプライヤとのプラ 製梱包材の減量検討	検討促進	検討と試行を 継続実施
		排出されるプラ を回収・リユース・ リサイクル	廃プラ類の適正分別 によるリサイクル促 進	適正分別巡視	適宜分別状態巡 視継続実施